

## 質問書に対する回答

工事名）上信越自動車道 高岩山トンネル（下り線）補強工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
3	図面番号101/146	簡易アスファルト基層工 ( $t=10\text{cm}$ ) の走行側の数量が $51.90\text{m}^2$ と数量表に記載されておりますが、 $212.0 \times 0.44 = 93.28\text{m}^2$ の間違いでないでしょうか。	設計図101/146仮設舗装工図(10)走行側簡易補舗装工の延長 ( $L=212.0\text{m}$ )、幅員 ( $W=0.440\text{m}$ ) に誤りがあります。正しくは、走行側簡易補舗装工の延長 ( $L=173.0\text{m}$ )、幅員 ( $W=0.300\text{m}$ ) となります。 なお、上記については交付図書を訂正いたします。
4	図面番号102/146 図面番号104/146	仮設コンクリート防護柵の割付番号38のブロックが、102/146の割付図(1)ではB1タイプとなっておりますが、104/146の割付図(3)のインバート設置A区間の数量表では、B (R) となっています。支給材料一覧表ではB (R)のL=1990mmが1個あることより、表の数量が正と思われます。割付図(1) 38のブロックはB (R)と考えると、B1が42m、B (R) が162mとなります。	設計図104/146仮設コンクリート防護柵工割付図(3)数量表（インバート設置）A区間で以下の記載の誤りがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設コンクリート防護柵工Type B1 割付番号「22、25」、数量「2」</li> <li>・仮設コンクリート防護柵工Type B (R) 仕様・寸法「L=1990、H=690」、割付番号「38」、数量「1」</li> </ul> 正しくは、以下の内容となります。 (数量の訂正) <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設コンクリート防護柵工Type B1 割付番号「22、25、38」、数量「3」 (項目の削除)</li> <li>・仮設コンクリート防護柵工Type B (R) 仕様・寸法「L=1990、H=690」、割付番号「38」、数量「1」</li> </ul> なお、上記については交付図書を訂正いたします。